製品安全データシート

作成：2001 年 11 月 29 日
改訂：2021 年 10 月 21 日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	**ハイレベルチェック・Ｓプラス**
会社名	シスメックス株式会社
所在地	〒651-0073　神戸市中央区脇浜海岸通１丁目５番１号
連絡先	シスメックス株式会社　テクノパーク 〒651-2271　神戸市西区高塚台４丁目４番地の４ TEL：(078) 991－1911（代表） FAX：(078) 991－1917
推奨用途	臨床検査測定用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類の記載

物理化学的危険性	該当しない
健康に関する有害性	急性毒性（経口）　区分 4 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性　区分 2A
環境に対する有害性	該当しない

GHS ラベル要素

GHS 絵表示

喚起語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害 強い眼刺激
注意書き	
安全対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 保護眼鏡、保護面を着用すること。
応急措置	飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 口をすすぐこと。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
保管	冷所(2～8℃)に密栓して保管すること。
廃棄	内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。
GHS 分類に該当しない危険有害性	本品はヒト由来成分を含んでいます。原料は、ＨＢｓ抗原、ＨＣＶ抗体、ＨＩＶ-１抗体及びＨＩＶ-２抗体の検査を行い、陰性の結果を得ていますが、感染性を完全に否定できる検査法がありません。また４項目以外の感染性物質については確認していません。従いまして、本品の取扱いにおいては、患者検体と同じように感染の危険性があるものと考え、十分に注意して下さい。

3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学的特性に関する情報	固体（凍結乾燥品）
危険有害成分	毒物劇物取締法、PRTR 法及び労働安全衛生法の対象物質は含んでいませんが、ヒト由来成分を含んでいます。成分内容はキット中の添付文書をご覧ください。
化学名又は一般名	塩化カルシウム(無水)
濃度（範囲）	2.8%
化学式	$CaCl_2$
CAS 番号	10043-52-4
労働安全衛生法政令番号	既存化学物質
化審法政令番号	(1)-176

4.応急措置

吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹸でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。
目に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
飲込んだ場合	飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	必要に応じて、適切な保護具を着用する。

5.火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火剤。
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封込め及び浄化の方法・機材	漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護眼鏡、保護面を着用すること。
接触回避	『１０．安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	情報なし
保管	
適切な保管条件	冷所(2～8℃)に密栓して保管する。
容器包装材料	情報なし

8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	情報なし
日本産業衛生学会	情報なし
ＡＣＧＩＨ	情報なし
設備対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	
呼吸の保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
手の保護具	必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的性状、形状、色など	淡黄色の固体（凍結乾燥品）
臭い	－
ｐＨ	ほぼ中性（溶解時）
引火点	－
比重（相対密度）	－
溶解度	－

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	塩化カルシウム(無水):区分4(出典:NITE、毒性値=1940mg/kg) 分類結果は区分 4 に該当
経皮	塩化カルシウム(無水):区分に該当しない(出典:NITE)
吸入	
(急性毒性(吸入:気体))	GHS 定義による気体ではない。
(急性毒性(吸入:蒸気))	データ不足のため分類できない。
(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	塩化カルシウム(無水):区分 1(出典:NITE) ただし 10×(眼区分 1+皮膚区分 1)の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分 2A に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発癌性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回曝露）	塩化カルシウム(無水):区分 3(出典:NITE、臓器=気道刺激性) 塩化カルシウム(無水)は区分 3 に分類されるが、本製品は塩化カルシウムを含む混合物であり、本製品の特定標的臓器毒性（単回曝露）はデータ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復曝露）	塩化カルシウム(無水):区分 2(出典:NITE、臓器=血液系) 塩化カルシウム(無水)は区分 2 に分類されるが、本製品は塩化カルシウムを含む混合物であり、本製品の特定標的臓器毒性（反復曝露）はデータ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	塩化カルシウム(無水):区分に該当しない(出典:NITE)
水生環境有害性 長期（慢性）	塩化カルシウム(無水):区分に該当しない(出典:NITE)
残留性／分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、オートクレーブ等で可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にして、感染性医療廃棄物として処理すること。 内容物／容器を行政の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、オートクレーブ処理後、感染性医療廃棄物として処理すること。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則	
Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
国際海上危険物規則	
Regulatory Information by Sea	Not dangerous goods
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex Ⅱ,and the IBC code	Not applicable
国内規制	
航空規制情報	非危険物
陸上「鉄道／道路」	
陸上規制	非該当
内陸水路	
海上規制情報	非危険物
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	なし

15. 適用法令

化学品に SDS の提供が求められる 3 法令の該非	
労働安全衛生法(通知対象物質)	非該当
毒物及び劇物取締法(毒物･劇物)	非該当
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	非該当
適用される主たる国内法令	主たる適用法令なし

16. その他の情報

一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。
略記	化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 PRTR 法:特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
参照	医療廃棄物処理ガイドライン（H01.12）厚生省水道環境部産業廃棄物対策室 NITE GHS 分類公表データ